



国際工芸美術館 計画は見直しを

新井よしなお(諸派)

〇 地元悲願の生活通路は不便で、疑念を持たれる設計契約選定方法の(仮称)国際工芸美術館計画は見直すべき。
〇 木島副市長 引き続き多くの方の意見をしっかりと聞きながら進めていきます。
〇 市立保育園だけでなく、私立保育園でもおむつ専用袋を配付できるよう改善すべき。
〇 環境資源部長 20年10月から12月に出席講座を開催した

とき、専用袋を配付したところ、受け取る場所が近くになるので増やしてほしいといった意見も伺っており、私立保育園含む公共施設以外での配付について研究していきます。

〇 図書館でWi-Fiが使えるよう整備すべき。
〇 生涯学習部長 利用者が調べ物をする際に図書館資料と併せてインターネットを利用するため有効だと考えています。引き続き研究します。



教育センターの 複合化について

山下てつや(公明党)

〇 教育センターの複合化について、地域や関係団体との調整はどうか。
〇 政策経営部長 検討に当たっては、地域や関係団体の皆様に意見を伺いながら、丁寧に進めていきたい。

〇 障がいのある方への新型コロナウイルス接種について、事前にヒアリングをして体制の検討を。
〇 臨時接種担当部長 希望する

る市民の皆様が安心して接種ができるよう、必要に応じて関係機関と調整を図り適切な対応を取っていきたい。

〇 ドロロンを飛ばせる場として、北部丘陵を活用できれば活性化につながるのでは。
〇 北部・農政担当部長 20年度に実施した市場調査結果も踏まえて、事業の運営方法などについて詳細に検討を進め、ミニレース開催等の実証実験も実施したいと考えています。



市民病院の経営 状況について

白川哲也(保守の会)

〇 新型コロナウイルスの影響により、市民病院では21年度の予算で約13億円の赤字を計上した。20年度から黒字化の予定であったが叶わなかった。22年度から始まる新しい5カ年計画では、収支見込を含めた財政をどう見通すのか。
〇 市民病院総務課長 入院診療単価の増加を図るとともに、病床利用率を高めることで収益向上が見込めます。費用面

は、高額医療機器の更新が控え、費用全体は増加していくと思われまます。このような収支構造となるものの、黒字化できるよう努力していきたい。

〇 新型コロナウイルスの影響を次期5カ年計画にどう見込むか。
〇 財務部長 今後の経済状況を見通すことは困難であること認識しています。リーマンショックの際の実績などを参考に、先々を見通していく必要があると考えています。



調区域 枯れの被害

佐藤伸一郎(自由民主党)

〇 企業の社屋や工場の市街化調整区域に係る開発行為や市街化区域への編入については、ハードルが高いことは理解するが、周辺環境や社会情勢の変化等を踏まえ、長期的な視点を持って判断する必要があると考えるが。
〇 都市整備担当部長 用途地域等に関する指定方針及び指定基準等を踏まえ、都市環境の保全に資する緑などに配慮

し、周辺環境や社会情勢の変化などを見定め、必要に応じて都市計画区域区分などの変更を都と協議していきます。

〇 ナラ枯れの被害対応は。
〇 木島副市長 相原中央公園で45本、鶴間公園で8本、芹ヶ谷公園で48本、原町田ふるさとの森で21本の伐採を既に緊急対応として行っています。今後も枝折れや倒木の危険があるものは順次伐採を行っていきます。



ナラ枯れの被害の様子



防災拠点 在宅医介

藤田 学(諸派)

〇 町田市バイオエネルギーセンター及び周辺施設等の防災拠点としての位置づけについて。
〇 高橋副市長 これまでの施設にはなかった新たな機能を周辺施設と連携することで、市民の皆様様の生命、財産を守り、災害時にも安心をお届けできる施設となります。

〇 CDR(予防のための子どもの死亡検証について)の全庁的な取組を求めます。
〇 高橋副市長 どういう形でできるかということも検証しながら、各部の横断的な情報交換も含めて考えていきたい。

〇 在宅医療・介護のさらなる連携強化と取組を求めます。
〇 いきいき生活部長 医療と介護の連携を中心としながら、地域の生活支援サービス等の社会資源についても、在宅療養の支援に必要な情報として共有を図っていきます。



社会的 孤児の支援を 防

松葉ひろみ(公明党)

〇 政府が備蓄米の無償提供を実施している。これを子どもの居場所である子ども食堂に活用してはどうか。
〇 子ども生活部長 個々の子どもも食堂でも申請はできませんが、事務作業の手間を考慮し、21年度に市が子ども食堂の希望を取りまとめ、本事業の活用を検討していきます。

〇 孤立を防ぐためには多くの見守りの目が必要と考え

る。学習支援団体等への支援も必要ではないか。
〇 子ども生活部長 今後は、他自治体の状況を注視しつつ、補助金を活用している自治体の状況を確認していきます。

〇 20年9月定例会で求めた多胎児支援のその後は。
〇 保健所長 ふたご手帖の配付と、ゼロ歳、1歳、2歳を迎える多胎児を育てる世帯を対象にタクシーチケットを配付する予定です。



体育着 動物愛護

東 友美(まちだ市民クラブ)

〇 町田にも体育着の下に肌着の着用を認めていない小学校がありいじめにつながっている。全公立小学校で肌着の着用を認めることを求める。
〇 指導室長 児童本人や保護者の希望で着用できるようにすることなどの配慮が必要と考えています。今後、校長会等を通じて周知し、児童及び保護者に説明する機会を設定するよう指導をしていきます。

〇 動物愛護改正により、全国で10万頭以上の犬猫の行き場がなくなると言われている。命を守るための新たな取組の検討を求めます。
〇 保健所長 動物愛護に係る施策の推進に向けて関係者が集い、協議する場として町田市動物愛護推進連絡協議会を設置しています。今回の法改正の動向についても、情報共有を図りながら、今後の取組について検討していきます。



版画美術館と工 房の役割を問う

殿村健一(日本共産党)

〇 今後のまちづくりの公立(市立)図書館を位置づけ、8館を存続、拡充すべきだが生涯学習部長 町田市立図書館のあり方見直し方針及び効果的・効果的な図書館サービスのアクションプランを着実に推進していきます。
〇 国際版画美術館と版画工房の役割を問う。(仮称)文化スポーツ振興部長 開

館以来、展示会事業と教育普及事業を中心に行ってきた。(仮称)国際工芸美術館は周囲の自然及び版画美術館との調和を保って整備します。

〇 国連が発効した核兵器禁止条約への署名、批准を国に求めるべきだがどうか。
〇 政策経営部長 加盟している平和首長会議が要請文を提出しており、市の考えも同様ですので独自に署名や批准を求めることは考えていません。



女性 改善を 求め

若林章喜(自由民主党)

〇 女性悩み事相談窓口の電話が繋がらないというこ
〇 市民協働推進担当部長 市のホームページなどにも男女平等推進センター事務局の電話番号を記載し、必要がある場合は警察や関係部署におつなぎする体制を新たに構築します。
〇 コロナ禍でも子どもの体力を守るため、土日の校庭・体育館の開放を求める。

指導室長 緊急事態宣言が解除されたら中学校の部活動、学校開放も再開します。
〇 町田市の教育方針である教育プランとまちだの教育のさらなる周知を求めます。



南地域の 接種会場 確保

戸塚正人(まちだ市民クラブ)

〇 南市民センターを南地域のワクチン接種会場として確保することを求めるが。
〇 臨時接種担当部長 ワクチン供給が一定程度増え、集団接種会場を増やす必要性が出てくる場合、南市民センターを含め、集団接種会場を新たに設置することも検討します。
〇 持続的な市内事業者への支援を求めるが。
〇 経済観光部長 国や都の動

向などを踏まえ、支援策を検討していきます。決まれば迅速かつ適切に対応していきたい。
〇 国際工芸美術館整備事業について、地域住民及び利用者団体から提出された要望書にのっとり、一から協議を行い対応することを求めるが。
〇 文化スポーツ振興部長 本設計が終わっているということで、位置等は変更できない部分もあるが、運用等ではできる限り対応していきたい。

用語の解説 本文中の青文字の解説です

〇ふたご手帖 [4面]

多胎児妊婦の妊娠経過や注意点、また、多胎児の発育状況等に合わせた身体発育曲線や育児方法などが記載された手帳。町田市では、双子や三つ子を妊娠された方へ、妊娠、出産の経過や準備などイメージができるように母子健康手帳(母子手帳)の交付にあわせ、ふたご手帖と記録ノートの1セットをお渡ししています。

〇CDR [4面]

Child Death Review (チャイルド・デス・レビュー)の略語。予防のための子どもの死亡検証制度。子どもが死亡した時に、複数の専門家(医療機関、警察、消防、その他の行政関係者等)が、子どもの既往歴や家族背景、死に至る直接の経緯等に関する様々な情報を基に、検証を行うことにより、効果的な予防策を導き出すこととする。

Copyright © 2021 by Masahiro Ueda. All rights reserved. (https://www.gilrsi-machida.in/)